

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.11

2012年9月度 活動報告 (2012年10月28日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



暑い日が続いたものの、田の稲穂は日に日に黄金色に輝きを増し、かつて“日高見の国”と呼ばれた石巻では、毎日、すばらしい夕暮れ空を見ることができました。夏の喧噪を過ぎ落ち着いた被災地にもまた日常が戻ってきました。その分、夏の間には芽吹きつつあった諸々の問題も顕在化し、被災地では心が沈みがちな冬に向けて、対策が必要とされています。となりびと、9月の活動を報告いたします。



気仙沼市【コミュニティセンター再建プロジェクト】



前浜地区で進めているコミュニティセンターの再建支援が、本格的に動き出しました。

8月後半にあった埋蔵文化財の調査では何も出土せず無事に終わり、9月1日から建物の屋根兼天井となるパネルの製作が始まり、大工さんらに教えてもらいながら前浜地域の人たちも材木の乾燥やカンナがけなどの作業を



しました。ルーテルからも木工経験者がボランティアに来たので、その経験を活かして活動してもらいました。

9月10日からは建設予定地の造成工事が始まり、夏には草が生い茂っていた土地が削られ、敷地全体が平らに均されました。本体工事の着工(基礎工事)は11月後半くらいになる予定です。(佐藤)



【となりびと】2011年の活動と今 ～救援活動開始から1年を過ぎて



震災から1年半が建ちました。「あれは去年のことなんだよね。」と石巻の方は最近言っていました。なんだかずいぶん時間がたったように感じますが、それだけこの1年半が濃密だったということなのでしょう。

振り返れば今年の9月はまだ瓦礫の片づけや災害ボランティアセンターの運営支援、また避難所

へのスタッフの派遣をしていました。仮設住宅への入居が落ち着いた頃で、新しい生活に必要な物資を届けたりもしていました。

今年は、そうした活動はほぼすべて終え、仮設住宅での定期的なサロン活動(手芸など)や流失したコミュニティセンターの再建など、落ち着いた暮らしを取り戻す活動に取り組んでいます。(佐藤)



【となりびと】募集中

「つるしびな」プロジェクトからお願いします。
詳しくは、担当:野口(k-noguchi@jelc.or.jp)まで。

【材料提供】

- ①綿 ②江戸組ひも(細めの糸は多く必要) ③洋裁用の接着剤付きの薄い芯地 ④布、ちりめん(白、ピンク、薄橙、緑、黄、青、柄物) ⑤フクロウの目(直径8mmのもの)



【作製ボランティア】

《内容》仮設団地・地域の方と一緒に「つるしびな」を作製していただきます。

《条件・定員》裁縫等ができる方若干名、性別、年齢を問いません。

《予定日》11月8日・15日。以降、2013年3月まで原則第1～3木曜日。

